



神戸常盤大学

キャンパスレポート



建学の精神

広く学術の基礎となる知識及び技能を授けるとともに、深く専門の学問及び技術を研究・教授して、知的、道徳的に優れた技術者を育成し、また成果を社会に還元することにより、国家及び地域社会の発展に寄与すること。

www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/

コロナ雑感 1年をふりかえって

学長 濱田 道夫



新型コロナウイルスの感染拡大が始まって、すでに1年余りが経過しました。コロナ禍は、いまだに収まる気配を見せません。私はこの「キャンパスレポート」の巻頭言にコロナ禍をとりあげてきましたが、今回で3度目となります。早く終わってほしいとは誰もが思うことですが、いま感染拡大の第4波にあって事態はむしろ深刻化の一途です。リスク管理に失敗し、社会システムは変調をきたしてしまっただけです。

この1年、コロナ禍のなかで大学もさまざまな経験をしました。昨年度は、新入生はもちろんのこと、キャンパス生活に慣れ親しんだ在学学生にとっても、不安や焦りにかられた大変な時期だったと思います。本学では1回目の緊急事態宣言の解除後、6月から対面授業と遠隔授業を並行して行うかたちで新学期を開始しましたが、慣れないことでもあり、最初のころは教員にも学生にも戸惑いがありました。その後、基本的には対面で、また感染対策上の必要に応じて遠隔で補完するという授業形態の方針が定着してきました。遠隔授業に関しては、これを機会にコロナ後を見すえ、その活用がどこまで有効なのかをじっくりと検討していくつもりです。学生諸君からみた学習の効果に気を配りながら、教員と学生の新しいつながり方が生まれればと思っています。

ところで、今年も多くの新入生を迎えましたが、コロナ

禍のなかで迎える新入生諸君にはやはり特別な思いがあるようです。私の担当する遠隔授業で、昨年からの感染拡大について感想を求めたことがありますが、高校生活最後の年なのに、何かと望みどおりにならなかったことを残念がる声が多くありました。とくに楽しみにしていた課外活動が制約されたことがつらかったようです。なかには、全国大会への出場が決まっていながら、感染拡大のため中止となり、あきらめなければならなかった悔しさを語る学生もいました。それだけに4月からの学生生活への期待も大きく、大学としてもそれに応えなければとつくづく思っただけです。

この1年、私自身も多くのことを学びました。専門職業人についての考え方もその一つです。このところテレビが連日のように、逼迫した医療体制や、各地の医療機関での医療従事者の奮闘ぶりを伝えています。事実上の医療崩壊があっても、心身ともに限界状況にあっても現場では仕事を続けなければなりません。頭の下がる思いです。本学が教育理念としてうたう、「いのちに寄り添い、いのちを支える」とはこういうことかといまさらながら感じ入ります。きれいごとでは済まされない、職業的な使命感、責任感というものを知った思いです。パンデミックを目の当たりにした学生諸君がたくましく成長し、将来、医療現場や教育現場で活躍してくれることを願っています。

新入生を迎えて



副学長 兼
教育学部 学部長
大森 雅人

教育学部こども教育学科にご入学の皆さん、おめでとうございます。本年度は85名の新入生をお迎えいたしました。皆さんを本学にお迎えできたことは、何よりの喜びです。これからの4年間、主体的に学び、多様な経験を重ねて、しっかりと自分の夢を叶えられることを心より願っています。

ここまでは、毎年、新入生の皆さんにお伝えしているメッセージです。

しかしコロナ禍以降は、ここからの内容が一変してしまいました。この文を書いている今、兵庫県では3度目の緊急事態宣言となる見通しです。一部で対面授業が継続できているなど、昨年度にキャンパスを全面閉鎖した時より状況は変化しています。しかしながら、当たり前のキャンパスライフとは程遠い、不自由な生活を皆さんにお願いしています。皆さんの長い人生を考えると、いつかは「あの時は大変だったね」と、同じ時代を生きた共通体験として語れる日が来ることでしょう。先は見通せませんが、歴史を振り返るなら、終わらない困難はありません。未来は必ず先に続いていきます。4年後に、皆さんが笑顔で卒業を迎えられることを、心から願っています。



保健科学部 学部長
塩谷 英之

保健科学部にご入学の皆さん、入学おめでとうございます。私も今年度より本学に着任しましたので、みなさんと同じように新鮮な気持ちと不安な気持ちが混ざった複雑な気持ちで新年度を迎えています。

現在世界は新型コロナウイルスとの戦いの最中であり、わが国においても、いつこの感染症が収束するのか予測できない状況です。このような状況下において大学でも遠隔授業が増え、又いろんなコミュニケーションの場が制限されています。人生で最も自由なコミュニケーションが広がる大学時代にこのような制限を受ける皆さんは本当に大変だと思います。しかしこの大変な状況に負けないでください。

下記に示すのはある作家が書いた有名なセリフです。

「タフでなければ生きていけない、優しくなければ生きていく資格がない」

この困難な時代においても是非他の人々に優しく接することができるタフな人になってください。その経験がきっと将来の医療の場で活かされると思います。皆さんの幸運を心から祈念いたします。



保健科学部
医療検査学科 学科長
坂本 秀生

新入学生の皆さん、神戸常盤大学保健科学部医療検査学科へようこそ。学内オリエンテーションの学科プログラムで、新入生全員が私の部屋を訪れてくれ、希望に満ちた皆さんと接し、生き活きた明るい笑顔が印象的でした。入学式後のガイダンスでお伝えしたように、皆さんは「ラッキー」を手に入れました。そのラッキーをどの様に活かし、さらに充実した人生を過ごせるかは、今後の4年間をどの様に過ごすかで大きく変わります。

大学生時代は楽しいことだけでなく、困難・試練・失望に何度も直面し、その全てが皆さんの希望または夢を実現するための基礎になります。本学では目指す方向性がほぼ同一の者が集い、本学科では医療検査がキーワードになります。同じキーワードを元に一緒に成長し、困難に立ち向かう仲間・同士のいることで、喜びは倍増され、辛さ・悔しさは薄めることができます。本学でラッキーをさらに増やし、有意義に過ごしましょう。



保健科学部
看護学科 学科長
長尾 厚子

桜の満開の頃、看護学科では86名の新入生の皆様をお迎えいたしました。

入学式典は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、新入生と教職員のみとなりましたが、式場は、緊張感の中にも新入生の皆様のキラリとした目の輝きに、教員一同が皆様の期待に応える教育をと、心あたらにしております。

看護学科では「いのちを支える確かな知識と技術、豊かな心をもつヒューマンケアのプロ」を目指し、カリキュラムを構築し展開しています。さらに、1年次に展開される基盤教育分野での幅広い教養分野の科目をはじめ、4年間をとおして「豊かな心」を育み、「ひと」として成長していくための糧となる多くの学修内容を展開しています。

コロナ禍の中、国民の安全を守る看護職の役割はますます増大しております。実践力育成のため、臨地実習を必修とする看護学教育においては、医療現場の状況で、臨地実習が難しくなる現状もあり、学内演習にも力を入れ、教育内容の補完をしております。8月に予定している「看護活動基礎実習」では主たる6施設での病院実習となりますが、この実習での体験をとおして専門職としての今後の学びの課題が見えるのではないのでしょうか。

これからも、国民の生命と健康を支える看護専門職への期待は益々大きくなってきています。教育課程内外での学びも含めて、4年間は短いものですが、大人として大きく成長される期間でもあります。有意義な日々となるよう、教員一同支援いたします。



保健科学部
診療放射線学科 学科長
松田 正文

保健科学部診療放射線学科に入学された二期生85名の皆さん、ご入学おめでとうございます。兵庫県下初の「大学が設置する、診療放射線技師を養成する学科」として昨年開設された本学科は、二年目の春を二期生の諸君とともに迎えることができました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症は未だ終息の気配すら見えず、本学の授業にも大きな影響を与えています。その蔓延を抑えようと世界中が努力していますが、その中で顕わになった我が国の医療制度の問題点もあります。しかし、この状況を嘆いているだけでは前途は開かれませんが、困難な状況にあればあるほど、それを克服し目的を達成したときの喜びは大きいものです。希望を持って入学された諸君の期待に応えるべく、本学は学生諸君に対する支援を惜しみません。新入生諸君が、知性と感性とを兼ね備えた、探究心旺盛にして柔軟な発想のできる医療人に育ってくれるよう祈っています。



教育学部
こども教育学科 学科長
光成 研一郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。コロナ禍という特殊な状況で昨年1年間を過ごされ、大学生活への期待も一層大きくなっておられることと思います。

大学4年間の生活を経て、多くの方は社会へ出ていかれることになると思います。4年後の社会は大きく変わっていることでしょう。3月には6期生が卒業しましたが、昨年度は一般就職希望者にとって本当に厳しい年となりました。昨年度ほど資格を取得した強みを実感した年はありませんでした。今から就職を見据えて、目指す資格をしっかりと取得して卒業を目指しましょう。

これからの変化の激しい社会で教員、保育者になるということは、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲や態度が求められます。本学には、皆さんが主体的に学ぶことのできる様々な環境を用意しています。ボランティア・地域交流・国際交流活動にも積極的に参加してください。我々教員は、規模が小さいというメリットを最大限生かして、きめ細やかなサポート体制で皆さんの夢の実現を全力でサポートします！



短期大学部
口腔保健学科 学科長
吉田 幸恵

新入生の皆様、ご家族の皆様、ご入学おめでとうございます。心よりお慶びを申し上げます。

今年も入学式は新入生だけの出席になりましたが、入学後のガイダンスなどは全て行われ、授業も1回目は対面で実施できました。今後、感染予防の観点から遠隔と対面の授業を併用しますが、昨年の経験から遠隔授業は対面授業に劣らない内容を提供できると考えています。

さて、本学科では歯科衛生士の資格取得のみならず、温かく豊かな知性と感性を本学で身につけて頂くことを教育理念としています。

学習において最初は聞きなれない用語や新しい事柄ばかりで戸惑われるかも知れませんが、教員が全力で支援しますので、安心して勉学に励み知識を積み重ねてください。

また、部活やサークル活動で学部・学科を越えての学生交流やボランティアや地域貢献の社会活動も経験して下さい。これらの多様な価値観を持った人との出会いが、きっと豊かな感性を育ててくれることと思います。



短期大学部
看護学科通信制課程 課程長
金川 治美

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。昨年から長く続くコロナ禍の中、皆さんは臨床において、それぞれに大変な思いをしていることと思います。今年度も、入学後最初に皆さんと触れ合える学習の場である春期スクーリングが遠隔授業となり、とても不安の中で過ごされていると思います。1日も早くこの状況が終息することを願わずにはられません。在学生の皆さんも、このような状況で仕事や家庭での役割をこなしながら、学習を継続することは容易ではないと思います。しかし、志をもって入学したのですから、止まることなく進んでいきましょう。私達、教職員はできる限り皆さんの不安を解消し、学習が進められるように支援していきます。目の前にある課題に取り組んでいきましょう。疑問があれば科目担当者に質問してください。これまでの准看護師としての経験に、「何のためになぜケアするのか」という意味が加わった時、看護に対する考え方が変わります。「なりたい自分になる」ために、一緒に頑張りましょう。

1年担任紹介

医療検査学科



Aクラス担任
栗岡 誠司
有機化学
無機化学
分析化学実習



Bクラス担任
新谷 路子
解剖組織学
病理学
基礎検査学



A、Bクラス担任
黒野 利佐子
国際看護活動論
老年看護学概論
老年援助論



Aクラス担任
伊東 美智子
母性援助論
母子支援実習Ⅲ

看護学科



Bクラス担任
紀ノ岡 浩美
療養支援実習Ⅱ・Ⅲ



診療放射線学科

A、Bクラス担任
高久 圭二
放射線物理学
放射線計測学



Aクラス担任
伊藤 彰
診療放射線技術学概論
医療情報学
診療画像検査学Ⅰ(MR)



Bクラス担任
市川 尚
画像診断機器学実習Ⅰ
放射線計測学実習

こども教育学科



教員養成コース
山下 敦子
国語
アカデミックライティング
教職論



保育者養成コース
笹井 隆邦
生き物と自然の力
理科
人類と地球環境



保育者養成コース
柳原 利佳子
基礎研究演習Ⅰ
発達心理学
教育心理学



保育者養成コース
大城 亜水
子ども家庭支援論
情報基礎
地域との協働A

口腔保健学科



Aクラス担任
上原 弘美
歯科診療補助論
歯科診療補助演習Ⅰ



Aクラス担任
川野 亜希
生化学・栄養学
キャリア基礎
(まなぶる▶とさわびとⅠ)



Bクラス担任
山城 圭介
病原微生物学・免疫学
口腔衛生学



Bクラス担任
破魔 幸枝
歯科予防処置論A
歯科予防処置演習AⅠ

新任の紹介

①住所 ②所属 ③専門分野 ④趣味・特技 ⑤好きな言葉



塩谷 英之

- ①神戸市
- ②看護学科
- ③循環器病学、臨床生理学
- ④クラシック音楽鑑賞
- ⑤一つの扉が開くとき、別の扉が開く。しかし我々はしばしば閉じられた扉をあまりに長く、後悔しながら見ているので、我々の前に開かれている扉が見えない。



伊東 愛

- ①小野市
- ②看護学科
- ③公衆衛生看護学
- ④手芸、ジグソーパズル
- ⑤初心忘るべからず



山本 恵

- ①尼崎市
- ②看護学科
- ③在宅看護学
- ④硬式テニス
- ⑤人生むだなし



南 利明

- ①神戸市
- ②診療放射線学科
- ③放射線治療技術学
- ④テニス、ランニング、魚釣り、スポーツ観戦
- ⑤YOLO! You only live once



對間 博之

- ①神戸市
- ②診療放射線学科
- ③核医学検査技術学
- ④映画鑑賞
- ⑤紡ぐ



倉本 卓

- ①神戸市
- ②診療放射線学科
- ③医用画像工学
- ④ゴルフ、映画鑑賞
- ⑤急がず焦る



桂 千広

- ①神戸市
- ②診療放射線学科
- ③放射線生物学
- ④手芸、パズル
- ⑤好きこそ物の上手なれ



市川 尚

- ①神戸市
- ②診療放射線学科
- ③放射線防護学
- ④野球、読書
- ⑤実るほど頭を垂れる稲穂かな



中西 利恵

- ①宝塚市
- ②こども教育学科
- ③教育方法、保育学
- ④玄関回りを花で飾ること
- ⑤だいじょうぶ



山城 圭介

- ①岡山市
- ②口腔保健学科
- ③歯周病学、歯内療法学
- ④釣り
- ⑤青は藍より出でて藍より青し



山本 光一

- ①神戸市
- ②事務局
- ④読書、スポーツ観戦
- ⑤一期一会



南前 晴香

- ①神戸市
- ②事務局
- ④音楽鑑賞、映画鑑賞
- ⑤なるようになる



上田 裕子

- ①神戸市
- ②事務局
- ④ステンドグラス、写真
- ⑤笑顔に笑顔の明日が来る



井上 啓一

- ①神戸市
- ②事務局
- ④ドライブ、旅行、韓流ドラマ鑑賞
- ⑤常に感謝



中川 幸治

- ①神戸市
- ②事務局
- ④寺社巡り、柔道四段
- ⑤感謝



古閑 美絵

- ①明石市
- ②幼稚園
- ④トレーニング
- ⑤継続は力なり



明瀬 里菜

- ①神戸市
- ②幼稚園
- ④旅行、テニス
- ⑤笑顔は人を幸せにする

◆◆◆◆◆ 2021年度 学内オリエンテーション ◆◆◆◆◆

学生部長
医療検査学科 教授 梶倉 匡文



新入生がよりよい学生生活のスタートが切れるよう、新入生同士や上級生、教職員との親睦・交流を目的として、これまでは4月に学外オリエンテーションを実施してきましたが、今年度はコロナ禍ということもあり、4月7日と8日の2日間、本学キャンパスを使って学内オリエンテーションが開催されました。今年は400名を超える新入生の参加がありました。

初日に行われた先輩学生たちによる「学生によるトキワシム」は、メインホールでの3密を避ける意味から、午前中は保健科学部の3学科、午後はこども教育学科と口腔保健学科に分かれて実施されました。シンポジウムでは各学科の学年ごとのカリキュラム概要や大学内外の生活情報、ボランティアセンターや海外研修などの紹介がありました。診療放射線学科は今回初参加でしたが、新2年生が積極的に企画運営に携わり、素晴らしい発表内容でした。

2日目は学科ごとに分かれ、新入生と教員・上級生との交流が行われました。医療検査学科では小グループに分かれ、皆で協力してクイズに答えながら学内施設をスタンプラリー形式で探索しました。上級生だけでなく教職員も参加しました。看護学科では在学生主導によるグループワークを行い、クイズやゲームで盛り上がりました。学内巡りは上級生との交流の場となりま

した。診療放射線学科では兵庫県診療放射線技師協会から講師をお招きし、講演をしていただきました。トークイベントではチューター、上級生も加わり、交流を深めました。こども教育学科では、アイスブレイクをした後、「仲間づくり」を進める目的でグループワークを行いました。続いて在校生、教員参加のレクリエーションを通して交流を図りました。口腔保健学科では歯科衛生士として活躍されている卒業生を講師としてお招きました。学生時代の過ごし方や歯科衛生士の仕事についてお話を聴くことができ、新入生は質疑応答を通じて歯科衛生士としての将来のイメージを持ちやすくなったと思います。

2日間とも好天に恵まれ、無事に終えることができました。コロナ禍の中ですが、いよいよ本格的に授業が始まります。神戸常盤大学の学生としての自覚と誇りを持って、充実した学生生活を送ってほしいと思います。



トキワシンポジウム



こども教育学科プログラム



医療検査学科スタンプラリー

学生自治会長あいさつ

本年度の自治会長になりました教育学部こども教育学科3年小河輝と申します。神戸常盤大学は学生数が約1,400名で、一人ひとりの個性が発揮できる環境が魅力的です。学部学科関係なくみんなで協力して、神戸常盤大学を活気づけていきたいと思っています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で大学生活も大きく変化しました。今年度も感染予防を徹底しながら、キャン

こども教育学科3年 小河 輝



パスライフが充実できるような行事を企画し、学生同士が交流できる場を多く作っていききたいと思います。自治会委員の皆さんや先生方にお力を貸してもらいながら、1年間の任期を精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

1年を振り返って



医療検査学科 2年
西山 友紀奈

私にとってこの1年間は今まで経験したことの無い出来事の連続でした。新型コロナウイルスの影響で入学式は保護者のいない学生だけで行われ、授業を対面ではなく、遠隔で受けている時期もありました。遠隔授業では友達と教えあったり、先生に聞いたりすることがすぐにできず困ることもありましたが、遠隔授業であることで登下校の時間が空き、自分の時間を作ることができるなどの良いこともありました。

対面授業が再開し、学科が混合して受ける授業で、同じ学科以外の人と話したり協力することで、自分の持っている考え方や意見を知ることができました。このように友達に会って話すことによって気づくことがあり、学校で授業を受けることの大切さを感じました。これからも臨床検査技師に必要な技術や知識を身につけるだけでなく、様々な人と関わることによって自分自身の考え方を広げていきたいと思っています。



看護学科 2年
岡田 麻帆

この1年は、新型コロナウイルスの影響により想像していた大学生活とは異なり、多くの不安や戸惑いを感じた1年でした。将来、看護師として働きたいという思いから4年間大学で勉強を頑張ろうと思い入学しましたが、遠隔授業などにより、勉強へのモチベーションが下がったこともありましたが、先生方をはじめとする多くの方々のおかげでコロナ禍であっても病院実習に行くことができ、看護師の仕事を実際に見ることができたため、看護師になりたいという気持ちが強くなりました。後期は演習が始まり、上手くできないことが多くて苦戦しましたが、友達と教え合いながら演習することで互いに良い刺激を与え合い、技術練習が行えたと思います。新型コロナウイルスの影響により十分に練習ができていないことに不安を感じていますが、今年はしっかりと技術を習得できるように努力したいと思っています。これからは専門的なことが多くなり、さらに大変になると思いますが、感謝の気持ちを忘れず頑張ります。



診療放射線学科 2年
大島 かれん

2020年度は入学直後から緊急事態宣言が発令され、大学生活がどうなるか分からない状況でした。授業も遠隔で始まりましたが、本学では早い時期から対面授業が再開し、また授業外のイベントやボランティアなどの活動にも参加でき、想像とは違ながらも充実した1年にすることができました。更に3月には、千葉県で行われた放射線による健康への影響を実践的に学ぶ研修会に2週間にわたって参加することができました。研修会では新型コロナウイルスの影響でできない事もありましたが、学校だけでは見られない施設などを見学できました。また特に印象に残ったのは、実際に放射線事故の対応に当たった職員の方の話と、リスクコミュニケーションについてです。どちらも参加できたからこそ知り得た興味深い内容でした。2021年度も引き続きできない事もあると思いますが、コロナ禍だからこそできる工夫もあると思うので、考えながら色々挑戦していきたいと思っています。



こども教育学科 2年
茂木 陽菜

今年1年は自分自身の環境が大きく変化した1年でした。夢を抱いて始まった大学生活。しかし、下宿での一人暮らしがスタートし、誰とも相談できず会うことのない遠隔授業が続き、不安な毎日を経験しました。その後徐々に対面授業が始まり、先生の顔を見ながら講義を受けられることや、友達にすぐに質問できる状況になったことで、少しずつ不安が解消されていきました。学生生活にも慣れてきた1回生の冬には、子育て支援施設KITでの実習を経験しました。将来の夢に迷いがあった私にとって、この実習は「小学校の先生になろう」と決意する大きなきっかけになりました。私は児童と関わる際に、「子供扱い」するのではなく、「同じ目線」で話すことを意識しました。口調や話し方に親しみを込め、時には友達のような目線でコミュニケーションをとることを実践しました。実習最終日、現場の先生がその行動に気づいて褒めて下さいました。この出来事は大きな自信に繋がりました。この経験を糧に、これからも小学校教諭という目標に向かって積極的に学び、実習においてもできるだけ多くのことを経験し、吸収できるように努力したいと思っています。



口腔保健学科 2年
井戸 みおり

入学してからの1年間は、新型コロナウイルス感染症の影響でイレギュラーなことが多く起こった年でした。慣れない一人暮らしの中、遠隔授業が始まり、ついていけないのかなど不安なことがたくさんありました。専門的な内容も多くありましたが、授業で分からないことがあった時に先生方に聞くと、遠隔でも丁寧に解説してくださったので、勉強を頑張ることができました。後期からは実習が始まり、より本格的な内容が増えました。失敗することも多々ありましたが、できるまで繰り返し練習することが大切だと実感しました。また、オープンキャンパスや歯科健診などのボランティアに参加し、様々な経験をさせていただくことができました。ボランティアでは、先輩方と関わることもあり、自分が今後どうなっていきたいか、また、どんな歯科衛生士になりたいかを考えることができました。2年生では勉強も頑張りたい、ボランティアなどにも積極的に参加していきたいと思っています。



看護学科通信制課程 2年

西岡 早苗

1年前の私は不安で一杯でした。パソコンに弱い自分が、CCNシステムを使いこなせるのか、仕事と家庭、学業という3足の草鞋を履く事ができるのかという不安と、コロナ禍で数少ない登校の機会も奪われたため、孤独との闘いでした。頑張って提出したレポートの不合格は本当に心砕ける思いでしたが、先生方からのわかりやすいコメント、そしてレポート合格の際は、『良く頑張りました』と褒めて下さる温かいコメントに何度励まされたかわかりません。また、看護学生として避ける事ができない実習も不安で一杯でしたが、初めて会う実習グループの学生達と互いに支え合う事で戦友になり、基礎看護学実習・看護マネジメント実習を終える事ができました。スクーリングでは先生方と対面し、また、他学生と交流する事で、不安を抱えているのは自分だけではない事を実感し、1年前の私はいまありません。この1年を乗り越えたことを糧に、卒業や国家試験合格に向けて精一杯頑張りたいと思います。

実習体験記

臨地実習を終えて



医療検査学科 4年

出口 陽菜

私は約2ヶ月間、病院で実習をさせていただき、「臨床の現場を知る」「本物に触れる」という病院ならではの貴重な経験をする事ができました。特に術中神経モニタリングや病理の切り出しでは、初めて本物の手術や臓器を目にし、人間の身体について感覚を用いて学べたことが強く印象に残っています。生理検査では実際に患者さんの呼び込みをさせていただき、相手に応じてコミュニケーションを使い分ける難しさを実感しました。臨地実習は決して楽なものではありませんでした。しかし、臨床検査技師の先生方をはじめとして関わってくださった方々がとても優しく、真剣に私たちと向き合ってくださいのおかげで臨床検査の様々な魅力に気づき、刺激的で充実した実習になりました。また、コロナ禍で実習生の受け入れも厳しくなっているなか、1日も欠けることなく病院実習を行えたことは感謝の念に堪えません。この実習で得た経験を活かし、指導いただいた先生方のような素敵な臨床検査技師になれるよう、これからも勉学に励みます。

臨地実習を終えて



看護学科 4年

大島 梨湖

今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で臨地実習に行ける期間が短くなりましたが、幸いにも、私は全ての領域で実習に行くことができました。最も印象に残っていることは、ある実習で患者さんから「あなたが毎日来てくれるから寂しくないわ。ありがとう。」という言葉を受けたことです。コロナ禍での入院生活は、家族との面会も中止となり、患者さんにとって苦痛を生じることだったと思います。しかし、患者さんのベッドサイドに行き、バイタルサイン測定やケアを通じてじっくり関わることで、少しでも患者さんの心の支えになっていると気付く事ができました。このことから、患者さんとコミュニケーションをとることや、患者さんとしっかり向き合い、思いに寄り添うことの大切さを学びました。現在、私は保健師を目指して勉強に励んでいるところですが、住民一人ひとりとの関わりを大切にできる保健師になれるよう、目標に向かって今後も精一杯頑張りたいと思います。

幼稚園実習を終えて



子ども教育学科 4年

武本 和真

幼稚園での教育実習から得た学びは多くありますが、特に子どもの自発性と探求心を引き出す事の重要性を実感しました。研究保育では、子ども達を困惑させることや、うまく保育が進められなくなることを恐れ、計画通りに進めたい気持ちが先行してしまいました。そのため子ども達にあらかじめルールや注意点等を多く伝えすぎてしまったのです。保育後、担当の先生から「子ども達が遊びを通して、決まりやルールを自分で考え、話し合い、決めるという事も大切です」と助言をいただきました。その事がきっかけで、子どもの主体性を尊重する保育に考え方を切り替え、子ども達にできるだけまかせていくように心掛けました。すると、子ども同士で話し合い、試行錯誤しながらルールを決めて遊んでいる姿が見られるようになりました。保育者の言葉がけは、子ども達の発達を促す上でとても重要であると実感し、子どもが自発し、探求して遊びを展開することを楽しむ姿に感動しました。この実習で得た経験や自信をもとに、これからも頑張っていきたいと思います。

小学校実習を終えて



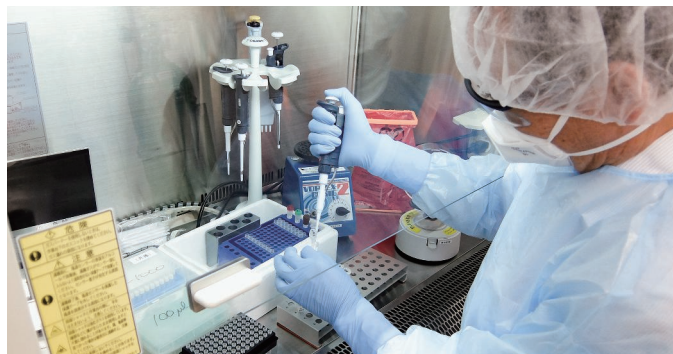
子ども教育学科 4年

佐々木 陽希

教育実習では教師を目指す私にとってこれ以上ない学びを得る事ができました。実習にあたり自分の中で3つの目標を立てました。現場の先生方の指導の技を盗み、その指導技術を習得すること、児童への声かけが意味のあるものになるよう意識すること、そして、児童と思いきり遊ぶことです。そのなかでも児童の意欲を喚起するような言葉がけを特に意識して取り組みました。担当になった2年生のクラスでは、児童を知る事が大切だと感じ、一人ひとりに接していきました。A君はクラスの中でも人気者でムードメーカー的存在でした。ところが、そんなA君が図工の時間に創作の手が進んでいません。どうしたのかと問いかけると、「前回みんなうまくやったのに僕はうまくいかなかった」としょんぼりした顔。そこで私は「A君の前の作品は、クラスの中で一番好きやったよ。次、どんな作品が見られるか楽しみやったの」と伝えました。するとA君は目を輝かせて「任せて先生!!次も先生のこと驚かせてみせる!」いつものA君にもどって素晴らしい作品を完成させました。このような経験を通して、児童の目線に立つとはどういうことなのか、学ぶ意欲を喚起する言葉がけとはどういったものなのか、ということ突き詰めていくことの大切さを身に染みて感じる事ができました。この実習で得た経験を基に、児童一人ひとりの可能性を引き出せるような教師を目指します。

神戸常盤大学医科学研究所(PCR検査センター)開設

神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部では、2020年度当初よりいち早く学内に「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、コロナ禍における学生生活のサポートを行って参りました。あらゆる人の「いのち」を『医療』や『教育』を通して支えていく人材を養成する本学では臨地実習は、コミュニケーション・スキルの重要性を自覚し、「いのち」の大切さがわかる専門職業人になるために必要で、必須な過程であると考えています。



検体を入れる作業

そこで本学では、登録衛生検査所として、「神戸常盤大学医科学研究所神戸常盤大学PCR検査センター」を設置しました。実習等に赴く学生に対してPCR検査を実施しています。学生の検査をあらかじめ正確に行うことにより、学生・受け入れ機関の安全・安心を確かなものにし、実習機関との信頼関係が築かれると考えています。この常盤流の考え方がウィズコロナの時代での新たな実習モデルになればと思っています。

「養護教諭 合格者座談会」を開催しました

4月18日(日)、看護学科の学生を対象に、神戸市立小学校・三田市立小学校・兵庫県立高校で正規養護教諭として活躍されている3人の本学卒業生を講師としてお迎えし、合格者座談会を開催しました。

教員採用試験の受験対策や養護教諭の業務に関することはもちろん、学生時代に看護学科生として養護教諭を目指していくに当たって不安だったこと・大変だったこと、養護教諭の魅力と厳しさなどについて、在りのままに語っていただきました。

座談会終了後も来年採用試験を控えている3年生をはじめ、卒業した先輩方も交えて、もっと詳しい話を聞かせて欲しいと講師の3人を取り囲む姿がありました。

実習等も大変多く、モチベーションを保ち続ける厳しさはありますが、本学の良さでもある看護師資格を持った養護教諭は現場でも高い評価を得ています。

“私も養護教諭になる!!”、“夢を実現させる!!”という熱い気持ちを忘れずに日々の学びを深めていって欲しいと思います。

新年度の大変お忙しい中、本学の先輩だからこそ共有できる看護師と養護教諭の勉強の両立の大変さを汲み取りつつお話いただき、本当にありがとうございました。

現場で澁刺と活躍されている先輩たちの姿は、在学生たちの励みとなりました。



座談会后、講師に質問する学生

栗岡誠司教授が文部科学大臣表彰

科学技術への関心や理解の増進に貢献したとして、栗岡誠司教授が令和3年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰(理解増進部門)を受賞しました。受賞は20年以上にわたり学内外で開催してきた「サイエンスショーによる化学概論の展開」や新聞連載などの取り組みが評価されたものです。

学校の理科授業を補完し、学習動機付けに資する化学サイエンスショーの設計と実践、また身近な理科の話題を、わかりやすく紹介する新聞コラムとして展開しているライフワークが高く評価されたことは、本学としても喜ばしいことであり、お祝い申し上げます。



文部科学大臣表彰



研究ノート

医用画像から新たな情報を引き出せ

診療放射線学科 講師 伊藤 彰



私はコンピュータを使った医用画像の解析を主な研究テーマにしています。昨今、医療で使われる画像診断機器は急速に進歩しており、静止画だけでなく動画も得られるようになってきました。いわゆるレントゲンという1枚の写真をイメージされる方が多いと思いますが、最近では呼吸の様子を動画で撮影することが可能です。しかし、放射線医学や放射線技術学の領域では動画があまり扱われてきませんでした。このため臨床的に有意義な情報を動画から取り出す方法は未発展です。私はMRIで撮影した腸の運動を見やすく可視化することを目指しています。腸はぜん動運動と呼ばれるリズムカルな収縮運動によって内容物を輸送しています。この運動が障害される病気があり、病態を評価するために腸の運動の様子を調べるための動画を撮影することがあります。しかし、手作業による動画の計測は非常に手間がかかります。コンピュータを用いた自動測定の方法がいくつも提案されていますが、それぞれ問題があり決め手に欠ける状況です。そこで解像度の低い動画に適した運動評価法を考案しました。ファントムと呼ばれる模型を使って、うまく解析ができるか実証実験を行っています。

診療放射線技師は目の前の患者さんから質の高い情報を引き出し、的確に画像化するにはどうすればよいか考えながら日々の業務を行っています。研究もその延長線上にあるべきで臨床課題の解決につながる研究を進めていきたいと考えています。

歯科口腔領域から感染と免疫を学ぶ

口腔保健学科 助教 川野 亜希



昨今の新型コロナウイルス感染拡大によって、「免疫」という言葉をよく耳にするかと思います。免疫とは、体内に侵入した細菌やウイルスなどの病原体を認識して排除する仕組みのことを示します。私は、免疫機構の中でも代表的なマクロファージが中心となって働く自然免疫を軸に研究を行ってきました。

なぜ、歯科衛生士が基礎研究を?と思われたかもしれません。私が基礎研究を続けてきたことは、自身の生い立ちと恩師との出会いに起因します。数年に一度、原因不明の免疫系疾患に苦しむことがあり、その度に病気の仕組みが分かれば予防策が立てられると思ってきました。その思いを抱えたまま、歯科系の大学へ進み、口腔と全身には深い関係があることを知りました。そこで、疾病の発症機序を理解することは、口腔内の疾病予防を担う歯科衛生士としても強みになるという思いと、今まで抱えてきた思いが合致して、基礎研究の道へ踏み出しました。時に迷いも生じましたが、大学生時代に出会った恩師から「覚悟さえあれば進みながら考えれば良い、長い人生の中のたった数年です。」という言葉が支柱となって博士号を取得し、研究活動を続けています。

現在は、歯科口腔領域の細菌感染症である歯周病をモデルに、炎症発生の機序と抑制作用について解析しています。今後、歯周病を含む炎症性疾患の新規予防策確立に向けて研究を展開していきたいと思っています。また、歯科口腔領域における新たな炎症抑制メカニズムを解明することは、全身疾患へのアプローチにも繋がると考えています。

看護学科の学生が新型コロナウイルス感染拡大防止を呼びかけました

今年4月、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を踏まえ、兵庫県神戸県民センター県民交流室が若い世代への新型コロナウイルス感染症防止対策の訴求を図る動画を作成・配信することとなり、本学看護学科4年生の大谷知加さん、川上芽咲さん、磯日菜多さんの3名が出演しました。また、同センターが実施する大学生による高校生への新型コロナウイルス感染防止出前講座(ストップコロナ・エバンジェリスト[伝道師]プロ

ジェクト)にも、同じく大谷さん、川上さん、磯さんの3名が神戸市の長田高校、神戸鈴蘭台高校、神戸野田高校の3つの高校に出向き、校内放送や代表生徒との対談などを通して同世代ならではの目線で高校生に感染防止対策の呼びかけを行いました。本取り組みは兵庫県のHP等でも紹介され、3名が出演した動画はYouTubeひょうごチャンネルや兵庫県広報戦略課の公式Twitterなどで公開されています。



取材の様子



高校生との対談



大学生による
新型コロナウイルス
感染注意喚起

ときわ幼稚園通信

4月12日に始業式、13日に入園式があり新年度が始まりました。年少児はままごとをしたり、歌をうたったりして教師や友達と一緒に過ごす楽しさを感じられるようになってきています。年中・年長児は進級することを楽しみにしていたので、1つ大きくなったことを喜びながらいろいろな活動に意欲的に取り組んでいます。

園では毎週月曜日に全クラスで体操をしたり、遊んだりする「わくわくタイム」という時間があります。コロナ禍になる前は手を繋ぐ、くっついて遊ぶ等ふれあい遊びも楽しんでいました。現在は感染対策が必要なため、過度にくっつく遊びや密になる遊びはできませんが、一緒に遊ぶ時間は大切にしています。一緒に体操をすると年長児は、お手本となるようにと大きく体を動かしたり、年少、年中児はお兄さんやお姉さんの動きを真似しながら体を動かすことを楽しんでいたりしています。様々な遊びや活動を通して、異年齢の友達とかかわる楽しさを感じたり、思いやりの気持ちをもったりできるようにしていきたいと思います。

ときわ幼稚園 教諭
八代 茉莉



みんなで体操楽しいな!



いろいろなことにチャレンジしてください!

衛生技術科 21期生 村上 典秀



神戸常盤短期大学を卒業して早や30年が経ちました。学生時代はまさに青春を謳歌し楽しい思い出が一杯です。

卒業後は国家試験に一度落ちたため1年間は西宮市鳴尾浜にある杏和総合医学研究所(社会医療法人愛仁会が開設した検査センターですが、現在は株式会社SRLに譲渡し、杏和総合医学検査センターと名称が変わっています。)で非常勤として仕事をしながら、翌年国家試験に合格したためそのまま就職しました。

就職してからは様々な部署で勉強をしましたが、検査センターであったため、得意先(開業医や病院)があり営業業務も経験し、営業業務が楽しかったことから、その

まま営業事務職員に転向しました。その後は情報処理部門へ異動し、結果処理などをおこないながら25年勤務しましたが、愛仁会が健康診断施設を尼崎に設立することになったため、検査技師や情報処理を経験したことで抜擢され、健康診断施設に異動することとなり、現在は愛仁会グループの高槻地区の健康診断施設で勤務しています。

愛仁会の上層部の管理職の中にも、臨床検査技師経験者が多数おります。みなさんも一度は病院等に勤務されると思いますが、その中での立ち位置をいろんな角度から見てみてください。



神戸常盤大学短期大学部歯科診療所のご案内 ☆あなたのお口の健康をまもりまします☆

〈診療時間〉

月曜日～金曜日 10:00～12:00/13:00～16:00

〈診療内容〉

歯磨き指導、歯のお手入れ、義歯のお手入れ、フッ化物塗布、むし歯や歯周病の検査、お口の機能向上、お口の健康相談

“あなたに合ったお口の健康を保つ方法をお伝えします!”

小さなお子さまから、どなたでもお越しく下さい”

〈費用〉

基本料金500円

〈予約方法〉

078-611-1831

(神戸常盤大学短期大学部歯科診療所)
予約の上、お越しください。



KOBE TOKIWAオープンキャンパス2021 & WEB OPEN CAMPUSのお知らせ

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、やむを得ずオープンキャンパスを中止する可能性があります。開催日直前に再度ホームページにて実施の可否のご確認を宜しくお願い致します。

〈日時〉: 7/11(日)、8/7(土)、9/5(日)、9/12(日)

事前申込制

- ・午前の部: 10:00～12:00(受付: 9:30～)
- ・午後の部: 13:30～15:30(受付: 13:00～)

〈内容〉: 学部・学科紹介、キャンパスツアー、個別相談会等

〈場所〉: 本学キャンパス(無料送迎バス運行) 詳しくはHPで!

OPEN
CAMPUS
申込み



WEB
OPEN
CAMPUS



財務情報につきましては、本学園のホームページをご覧ください。

発行・編集 神戸常盤大学 広報委員会 〒653-0838 神戸市長田区大谷町2-6-2 ☎(078)611-1821(代)